

情報通信キャリアを中心とした

最新の実務情報を 40 年以上にわたり提供

ICT 総合誌「月刊ビジネスコミュニケーション」は、1964 年の創刊以来、40 年以上にわたり NTT をはじめとした情報通信キャリアとそのパートナー&ユーザー企業に向けて、最新のソリューションやサービス、製品動向などの実務情報を提供してきました。現在、企業経営において、IT が果たす役割は益々拡大しています。「ビジネスコミュニケーション」は、確かな実績のもと、情報通信事業者をはじめとした各企業の皆さまのビジネスに、付加価値と競争力をもたらす情報を提供して参ります。

「ビジネスコミュニケーション」の主な掲載企業(敬称略)

NTT、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ、NTTデータ、
NTTファシリティーズ、NTTコムウェア、NTTアドバンステクノロジー、NTTソフトウェア、
NTT-ME、NTTネオメイト、ぷららネットワークス、NTTデータ先端技術、各研究所、
NEC、日立製作所、富士通、沖電気工業、伊藤忠テクノソリューションズ、協和エクシオ、日本コムシス、
日本IBM、日本オラクル、EMCジャパン、ヴァイテムウェア、インテル、マイクロソフト、シスコシステムズ、
日本ヒューレット・パッカード、サン・マイクロシステムズ、シマンテック、トレンドマイクロ、ソリトンシステムズ、
日本ネットワーク・アプライアンス、ジュニパーネットワークス、東陽テクニカ、東京エレクトロン デバイス、など

媒体概要

創刊：1964年3月発行／形態：月1回刊（毎月1日発行）／判型：A4変形判（AB判）／発行部数：約40,000部
定価：1,000円（本体952円）／年間購読10,800円／販売方法：年間予約購読方法による郵送／契約書店販売



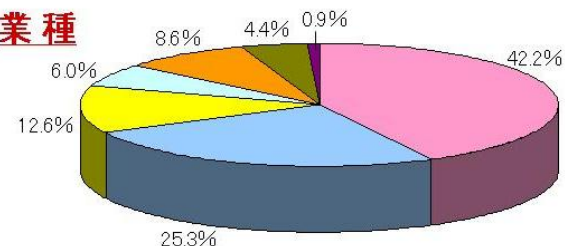
読者の“顔”が見える

深いコミュニケーションを形成

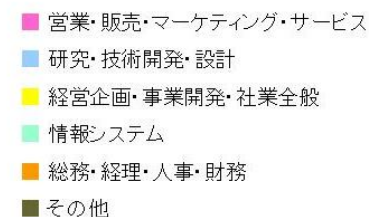
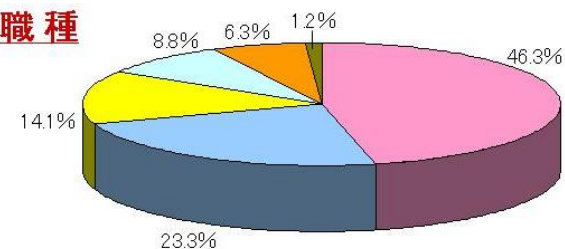
「ビジネスコミュニケーション」の読者のほとんどは予約購読（または契約書店を通じての販売・購読）ですので、情報を発信する側（企業の皆さま）、受ける側（ユーザーの皆さま）の“顔”が見える、深いコミュニケーションが形成されています。そのため、次のような特徴をもっています。

- ターゲットとしている読者（ユーザー層）へ、伝えたい情報の詳細を提供します。
- 掲載記事はその内容を印刷前に確認していただくので、各企業の視点から正確な情報を提供します。
- 創刊以来40年以上にわたり情報通信に関連した情報を提供してきた実績とノウハウをベースに、最新のIT実務情報を読者の皆さまにわかりやすく伝えます。
- 読者の中心は各プロジェクトを推進するリーダー。ブロードバンド時代にふさわしいビジネスモデルを中心とした実務情報を提供します。

業種



職種



役職

